



MS345-18001

フロントフェンダーエアロフィン

取付・取扱要領書

この度は86用フロントフェンダーエアロフィンをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本書には上記フロントフェンダーエアロフィンの取り付け・取り扱い上の注意について記載してあります。
ご使用前に必ずお読みいただき、正しい取り付け・取り扱いをお願いいたします。
なお、本書は必ずお客様にお渡し下さい。

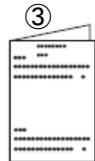
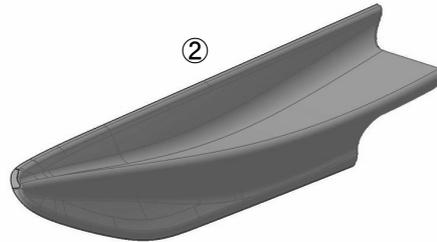
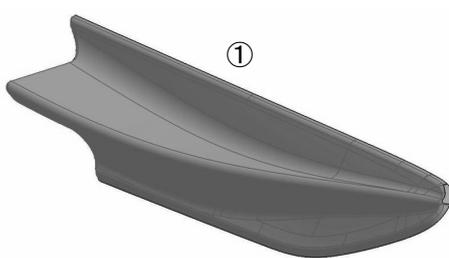
■ 品番および適合

品番	適合車種	型式	年式	備考
MS345-18001	86	ZN6	'12.04~	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<<http://www.trdparts.jp/>>

■ 構成部品

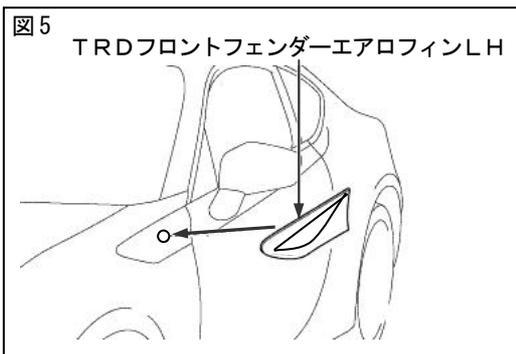
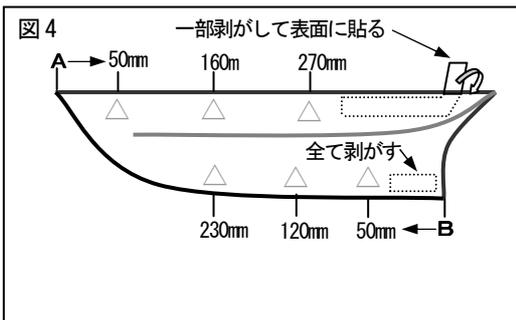
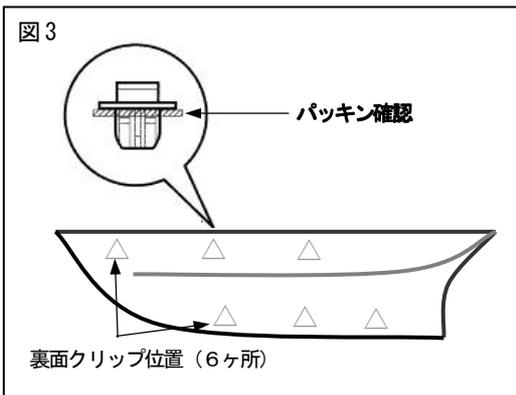
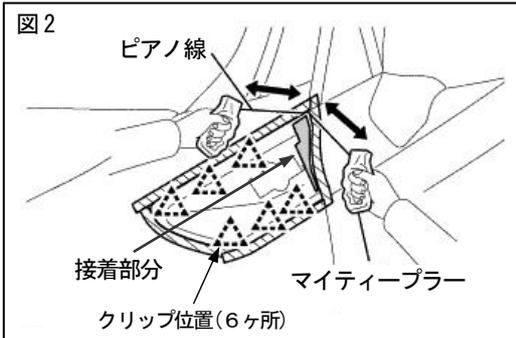
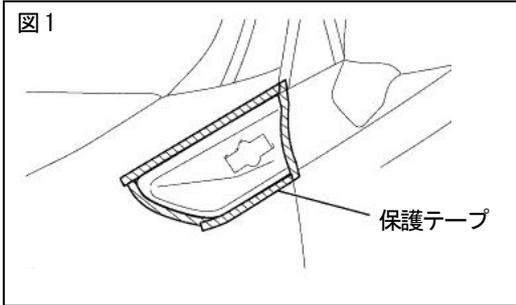
	部品名	品番	数量	備考
①	フェンダーエアロフィンRH		1	
②	フェンダーエアロフィンLH		1	
③	取付・取扱説明書(本書)		1	



■ 取付・取扱上の注意

- △警告 (1) 本商品を分解・加工・改造してのご使用は絶対しないで下さい。破損や事故の原因となる場合があります。
- △警告 (2) 本商品を適合車種以外には絶対に使用しないで下さい。破損や事故の原因となる場合があります。
- △注意 (1) 本商品の取付作業は必ず専門の整備工場で作業を行って下さい。
- △注意 (2) 取付けの際は必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守り確実な作業を行って下さい。脱落等により重大事故の原因となる場合があります。
- △注意 (3) 本商品を取付け後、他部品との干渉がないか確認して下さい。もし干渉がある場合は購入された販売店にご相談ください。そのまま走行されますと、破損や事故の原因となる場合があります。
- △注意 (4) 本商品を取り付けした車両は走行特性が変わります。車両に慣れるまでは急激な運転操作は行わないで下さい。事故の原因となる場合があります。
- △注意 (5) 運転中に不具合(異音、振動等)が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、専門の整備工場にて点検を行って下さい。そのまま走行を続けると、破損や事故の原因となる場合があります。

■ 取付要領



1. フロントフェンダーモールディングLH取外し。

- (1) 図1のようにフロントフェンダーモールディングの外周に保護テープを貼り付ける。

△注意

- ・アルミテープ、ガムテープ等で養生して下さい。車両の傷付き防止の為、紙テープの使用はお止め下さい。
- ・保護テープはフロントフェンダーモールディングの取付け隙間に入り込む位まで貼って下さい。

- (2) 赤外線ランプ、ヒートガン等を使用しフェンダーモールを暖める。(30~40℃で3~5分)

△注意

- 暖めたボディや、赤外線ランプ、ヒートガンでの熱による火傷に気をつけて下さい。

- (3) ピアノ線をマイティープラーにセットし、図2のように交互に引いて矢印先の両面テープ接着部分を切断する。

△注意

- ピアノ線がボディに接触しますと保護テープ越しに塗装面を傷付ける場合がある為、十分に注意して下さい。

- (4) 図2に示したクリップ位置6ヶ所を、モールディングリムーバを用いて外し、フロントフェンダーモールディングを車両から取外す。

△注意

- モールディングリムーバ使用時、梃子作用の支点部に凹み、塗面欠けを起こさないように十分注意して下さい。

2. TRDフロントフェンダーエアロフィンの取付け。

- (1) フェンダー側に残った両面テープをきれいに除去する。

△注意

- 両面テープが車両パネルに残ったままですと、取付けますと、密着不良、クリップの勘合不足等により、浮き・外れの原因となりますので完全に除去して下さい。

- (2) 両面テープの接着部を白ガス又はIPAにて脱脂する。

△注意

- 脱脂に、パーツクリーナーは使用しないで下さい。油分が残り、剥がれの原因となります。

- (3) フェンダーエアロフィンのクリップ6ヶ所にバックインが付いている事を確認する。(図3参照)

- (4) 図4のようにフェンダーエアロフィン裏面の両面テープ離型紙を下側は全て剥がし、上側は20mm程はがし表面に貼り付ける。

- (5) 赤外線ランプ、ヒートガン等で、テープ面を20~30℃、フェンダー側を40~60℃に暖める。

- (6) 図5のようフェンダーエアロフィンのクリップ6ヶ所をフェンダー穴に合せて押し込み、勘合させた後に離型紙を抜取る。

- (7) 両面テープ部を圧着する(50N/cm²)

△アドバイス

- 図4に前端A部、後端B部からのクリップ位置を示していますので、クリップ部を確実に押し込んで下さい。

△注意

- クリップが完全に勘合しているか、前側4ヶ所はエンジンルーム側から、後側2ヶ所はドアを開放した後方より確認して下さい。

3. RH側も同様に交換する。

△注意

- 取付後(接着後)24時間は洗車等で、水が掛かる事の無いように注意して下さい。